

2020年12月15日 発行

公益社団法人 福井県理学療法士会

News Letter No.199

発行人：福井県理学療法士会
〒910-0855
福井市西方1-2-11 嶋田病院
会長：四谷 昌嗣
ニュース編集部：辻 大樹
会員数：920名
施設数：177施設
(令和2年11月末日現在)

足元を掘れ

福井県立病院
小澤 純一

先日、オンライン開催となった福井県理学療法学会の COVID-19 に関するシンポジウムでの一コマ。シンポジストの一人が饒舌鋭く語る背後で、「パー、ただいまー!!」の声。外出から帰宅した様子の子供さんの声に、冷静さを装う講師の顔…。リモートあるある、である。そんな私も発表直前に、発表スライドの共有ができなくなり慌てて順番をずらしてもらおうハプニング…、人のことは笑えない。

世界中を吹き荒れる新型コロナウイルスの前に、今まで当たり前に行ってきたことが出来ず、戸惑うことが多い。協会や士会活動も然り、対面での会議や研修会、そして飲み会も儘ならず、今年上半期は空白の半年になってしまった感がある。しかし、オンラインでの学会開催や研修会企画もはじまり、いわゆるニューノーマルの中で活動が再開されている。

「足下を掘れ、そこに泉あり」、ニーチェの言葉らしい。自粛のために身動きがとりづらい状況はまだまだ続きそうだが、やるべき価値のあることは職場や地域、県士会などすぐそばにあるようだ。さてどうすればうまく泉を掘り当てられるか、とりあえずハイボールを片手に学会の動画配信でも見直してみましようか。



福井県理学療法士会

2020年12月15日

施設紹介

【施設紹介】



社会福祉法人 大野和光園訪問看護ステーション

社会福祉法人大野和光園は、「すべてはその人のために」という基本理念のもと、介護老人福祉施設と各種在宅サービスを提供しています。

訪問看護ステーションでは、病状に合わせて 24 時間 365 日対応しており、利用者と家族に寄り添ったケアや医学的な処置が必要な場合には、医師の指示のもと点滴などを行っています。また、理学療法士が常勤しており、身体機能の維持や改善、家屋環境に適した福祉用具の説明や助言、運動療法などを行っています。

当ステーションでは、利用者の状況をスタッフ全員が把握できるように毎日ミーティングをしています。問題点に対してはそれぞれの知識や経験から意見を出し合い、全身状態の管理や身体機能、活動能力などをふまえて今後の予測まで積極的に議論することができていることが最大の持ち味だと感じています。

看護やケアを中心とした看護師の視点と身体機能と活動能力をより細かく評価、解釈するリハビリ職の視点で利用者、家族が安心して過ごせるように協働して向き合うことができているという強みのある施設です。



2020年12月15日

Professional ~Style of works~

Profile

プロフィール

- 氏名： 高氏涼太
- 所属先： 医療法人健康会 嶋田病院
- 取得資格： 認定理学療法士（脳卒中）
- 経験年数： 10年目
- 出身校： 大阪電気通信大学
- その他資格： 特になし



Questions

Q1 この資格を取得しようと思った理由を教えてください。

脳卒中の患者様を担当する機会が多くなり、治療をしていく中で専門的な知識が必要だと思い取得しました。

Q2 この資格に関わる魅力を教えてください。

脳卒中は病態によって症状が多様化するため、自分が苦手とする分野を明確にし、勉強することができることです。

Q3 この資格を取得して良かったと思うことを教えてください。

近年、脳科学の研究が進む中で最新の知見をもとに、脳の機能解剖を学べることです。臨床では脳画像を確認した上で、実際にみられる所見と症状と照らし合わせながら、効率のいい治療を考案することができ、実際に患者様が早く良くなっていくことが実感できることです。

Q4 この資格を取得するために大変だった事などを教えてください。

10症例のレポートを作成することが大変でした。また、今年は新型コロナウイルスの影響でオンラインでの試験となりましたが、講義資料を何度も見返して頭に入れて、理解することに苦勞しました。また、試験問題で問われる問題と臨床で課題となる問題は異なるところが多いので、試験と臨床の勉強を両立することが大変でした。

Q5 今後のセラピスト活動に対する計画や目標、希望などを教えてください。

認定理学療法士は永久資格ではないので、今後も研修会や学会などに参加して、専門的知識を更新し、自己研鑽に励みたいと思います。



2020年12月15日

第24回福井県理学療法学会 開催報告

学術局 担当理事 亀井健太

第24回福井県理学療法学会は、2020年11月8日（日）に成功裏の内に無事学会を終了することができました。今回の学会は、コロナ禍での三密を避けるため、福井県士会としては初めてのweb開催となりました。それにもかかわらず、209名という予想を上回る沢山の皆様にご参加いただいたことを非常に喜ばしく思います（実は、北は北海道、南は沖縄と県外からの参加もいただきました）。

思い返せば、3月に入りこの福井県にもCOVID-19の影響が始め、ほどなくして今年の県学会についても延期せざるを得ない状況となりました。しかし、学会は、知識の広がりや新たな出会い、意見交換、ネットワーク作りの重要な機会を提供してくれる場です。そして何より、このコロナ時代をみんなで乗り越えるための知識と経験の共有、そしてこれからは見据えたディスカッションが必要と考え、オンラインでのweb開催の方法を模索しました。士会学術大会部の部員にとっても当然初めてのweb開催ですので、手探りの中そしてあまり時間のない中、部長の久保田先生を中心に部員一丸となって準備を進め、今回の開催に至りました。

一般演題は合計11演題があり、座長賞の受賞者は下記の2名でした。おめでとうございます！

後日、賞状と、副賞（図書カード5000円分）を大会長より直接贈呈いたしました。

一般演題①：0-05 福井県立病院 中川 寛紀 先生

（演題名：新型コロナウイルス感染症患者の廃用性機能低下の現状報告）

一般演題②：0-11 嶋田病院 笠島 明日香 先生

（演題名：運動負荷の設定に苦渋した外傷性脳出血患者の一症例）



左は中川先生、右は笠島先生
（後日、大会長から手渡されました）

特別講演①とシンポジウムは、新型コロナウイルス感染症に焦点を当て、県内各施設での取り組みから、今後理学療法士に求められることまで、幅広いディスカッションがありました。また、“新たな分野”ということで、特別講演②では骨盤底機能に対する理学療法の可能性を感じることができました。

今回の学会を終え、色々と不備な点もあったと思いますが、参加者からの学会終了後の感想には、「Web学会とすることで自宅から参加でき、時間を有効活用できて良かった」「介護・育児などがあっても学会に参加できた」「特別講演をあとから再放送で聞けて良かった」「スライドが見やすく、質問も気軽にできた」など、肯定的な意見が多く見られ、ひとまず安心しています。来年度以降がどのような開催形式になるかはまだわかりませんが（web+On-Siteのハイブリッド開催についても検討しています）、学会という場での学びや、議論をすることは、理学療法の実践には欠かせません。新しい生活スタイルに合った学会スタイルを見つけていきますので、ご協力の程、そしてご意見ありましたら県士会宛にいただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

2020年12月15日



学会運営の裏側

メインルームは、福井商工会議所の一室です。



密に注意して進行了ました

初めてのweb学会となった第24回福井県理学療法学会を振り返って

士会学術大会部 部長 久保田雅史

思い起こせば、新型コロナウイルスに大きく振り回された第24回福井県理学療法学会でした。例年2月頃といえば、5月に開催される県学会の演題募集を締め切り、学会準備はピークを迎える時期です。今年度の学会では、特別講演やセミナーと共に、参加型ケース検討会を試みようとして準備をしていました。講師やアドバイザーの先生方にも内諾を得て、開催概要はほとんど確定していたのです！しかし、本年3月に入り本格的に日本国内に新型コロナウイルス感染症が広がると、残念ながら“学会延期”を余儀なくされました。さらに福井県内でも感染が広がり始めると、情報が錯綜し、何を信じ、どのように対応したらよいか分からず、まさに混乱していたのではないのでしょうか。。そんな状況だからこそ、5月に入り、理事の亀井先生と「学会での情報共有が必要」「学びを止めてはだめ！」と意見が一致しました。それから11月の開催までの半年間は、本当に大変でした。まず準備会議を対面では行わず、全てweb上で行いました。なにせ当時は、私も含めてweb学会など参加したこともないメンバーばかりでしたので、何を設定して、どのように運営したらよいか、本当に試行錯誤を繰り返しました。それでも、これまで何度も一緒に学会開催に携わってきた学会部員の強力なバックアップがあり、本当に心強かったです。また、一般演題が集まるか不安でしたが、福井県士会員の皆様が多く演題を登録してくれたことも嬉しかったです。先日、学会は大きなトラブルもなく開催できました。他県士会では学会中止が多い中、福井県士会では開催でき、熱い議論ができたことを心から誇りに思います。そして、豊田大会長、亀井理事、山之内理事をはじめ、開催に尽力してくれた学会部員、参加して頂いた県士会員の皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。

最後に、私事ですが、9月より職場を金沢大学に異動したため、士会学術大会部の部長は大森整形外科の野形先生に引き継ぎます。第20回大会から5年間、大変お世話になりました。福井県士会が今後ますます発展していきますことを、心より祈念しております。



密を避けるため、少数精鋭の学会当日運営メンバー

2020年12月15日

事務局からのお知らせ 12月

◆ 会員の動向 (令和2年11月末現在) ◆

会員数：920名(勤務先会員 873名、自宅会員 47名)、施設数：177施設

新入会員：21名、休会者総数：110名、退会者数：23名

*会員の皆様、当士会の運営にご協力とご理解を頂き厚く御礼申し上げます。

士会活動は皆様の会費によって運営されております*



◆ 事務局預かりの備品 ◆

下記の備品を事務局で保管しております。講習会やイベントの際は貸出いたしますので、事務局までご連絡下さい。

ネームランド	1台	ビブス(小)	15枚
デジタルカメラ	3台	ビブス(大)	20枚
プロジェクター	1台	カードリーダー	7個
スクリーン	1張	ネームホルダー(安全ピン・クリップ付)	124個
DVDプレイヤー	1台	ネームホルダー(不織布 緑)	226個
ステレオマイクロホン	1個	ネームホルダー(プラスチック赤紐)	46個
Hi-Fi ビデオコード	1台	ネームホルダー(プラスチック白紐)	532個
Web カメラ (2台)	2台	胸章リボン大 赤	15個
USBスピーカー	1台	胸章リボン大 白	7個
プリンター(epson)	1台	胸章リボン小 黄	50個
プリンター(brother)	1台	胸章リボン小 青	33個
レーザープリンタ (Canon)	1台	胸章リボン小 赤	4個
タープテント	4張	ホワイトボード大	6枚
折りたたみベッド	4台	ホワイトボード小	6枚
貸出金庫(大)	1個	ブラックボード	1枚
貸出金庫(小)	4個	メディカルバック	2個
会議室用ストーブ	1台	マガジンラック	1台
延長コード(29m)	1台	のぼり旗(士会ロゴあり)	10枚
ジョイントマット	120枚	のぼり旗(士会ロゴなし)	10枚
体温計	4個	のぼり旗(リハビリ展)	10枚
緑ジャケット(士会名入り)	4枚	のぼり旗用の棒	7本
名前カード立て	28個	賞状用お盆	1個

(注意) 経理運用基準にもありますが、消耗什器備品の購入は必ず事務局長の許可を得てください。

また、士会で購入したものは、個人管理ではなく、事務局での管理といたします。

会員の皆様が利用できるよう心がけてください。

新型コロナウイルス感染対策備品(消毒液・フェイスシールド・非接触型体温計等)も準備しております。

◆ 会員の皆様へ ◆

寒さもひとしお身に染みる頃となりました。県内のコロナ感染者数は横ばい状態ですが、寒さが厳しくなるにつれ、別の疾病での患者さんも増加してきます。

会員の皆様におかれましては心身ともに、健康にくれぐれもお気を付けください。



福井県理学療法士会
事務局
笈田裕美・横井浩江
TEL : 0776-29-7003

2020年12月15日



【編集後記】

2020年はCOVID-19でもちきりの一年でしたね。最近のニュースではワクチン接種が始まっている国もあるようで明るい兆しが見えてきました。まだまだ問題や課題はありますが、少しずつ改善していく2021年になると良いですね。



賛助会員

有限会社 奥義肢製作所
福井県福井市二の宮 2 丁目